

被ばくと避難のポイント

●原子力発電所で事故が起きた場合、放射性物質が放出される恐れがあります。



原子力発電所から漏れだした放射線物質は、目で見ることにはできませんが、煙のように風下に広がり、時間とともに地上に落ちてきます。

放射性物質を身体に取り込んだ場合、体内に取り込んだ放射性物質から被ばくする場合があります。

これを防ぐためには、放射性物質を直接皮膚に付けたり、呼吸により放射性物質を体の中に取り込まないようにしなければなりません。

重要

原子力災害時の避難のポイント

- ①放射性物質の身体への付着を避けるため、**雨具や帽子を着用** しましょう。
- ②放射性物質の吸い込みを避けるため、**マスクを着用** しましょう。

※災害に備えるため、訓練の際も着用しましょう。



富山県 知事政策局 防災・危機管理課
〒930-8501 富山市新総曲輪1-7 県庁本館2階 TEL.076-444-9670 FAX.076-444-3489

(平成28年10月作成)



放射線観測局増設中



●富山県では、放射線の監視体制を強化するため、放射線観測局を増設しています。

- ・平成26年度末：3局
- ・平成27年度末：5局（2局増設）
- ・平成28年度末：8局（3局増設）（予定）

●観測した結果は、氷見市役所やホームページで確認できます。



氷見市役所



ホームページへアクセス

富山県放射線データ 検索

▶モバイルサイト

QRコードからアクセスできます。

富山県
環境放射線データ
リアルタイム表示

●このほかにも、緊急時には、走行しながら放射線を測定するモニタリングカーや持ち運び可能な可搬型モニタリングポストでも放射線を測定します。



モニタリングカー



可搬型モニタリングポスト

放射線観測局にて放射線を連続測定しています。
平成28年10月1日現在、大気中の放射線量に異常はみられません。